

6月26日(日)

## 化学・生命系学科説明会 (理工学部講義棟 A 1 0 7) (同時配信A206)

### 1. 化学・生命系学科説明会

山口学科長が、化学生命系学科の全体概要について紹介いたします。

|        |               |
|--------|---------------|
|        |               |
| 説明会1回目 | 11:00 ~ 11:30 |
| 説明会2回目 | 12:45 ~ 13:15 |
| 説明会3回目 | 14:30 ~ 15:00 |

3回とも同じ内容になります。

### 2. 模擬講義

11:30 ~ 12:00

化学EPの本倉教授が『環境問題を解決する触媒』の題目で講義を行います。

### 3. 学生による大学生活及び研究紹介

13:15 ~ 14:15

各EPの学生代表者が、研究や大学生活について紹介します。  
研究室選び、研究、教職、サークル、大学院進学、バイト・・・など

### 4. 個別相談会

15:00 ~ 16:00

各EPの入試委員、在学生が個別に質問にお答えします。  
入試、キャンパスライフ、進学、就職・・・など

第2食堂



### 緊急時の避難場所について



緊急時は、教員の指示に従って下さい

化学生命系学科の詳細は、[ホームページ](http://www.chem-bio.ynu.ac.jp/)にアクセス

<http://www.chem-bio.ynu.ac.jp/>

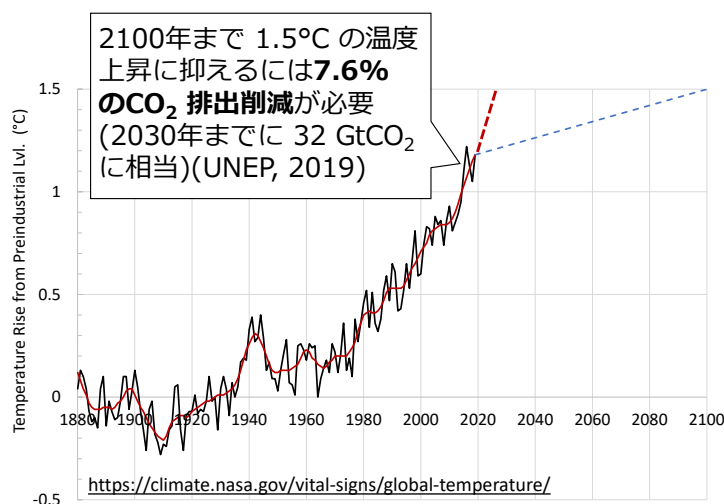
# 模 擬 講 義

## 『環境問題を解決する触媒』

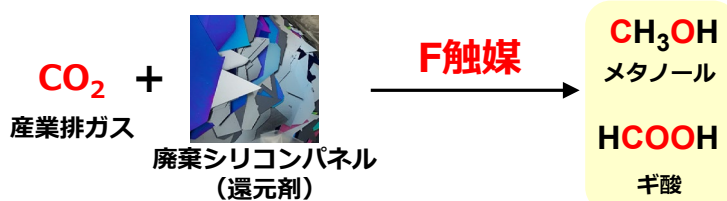
本倉 健 教授



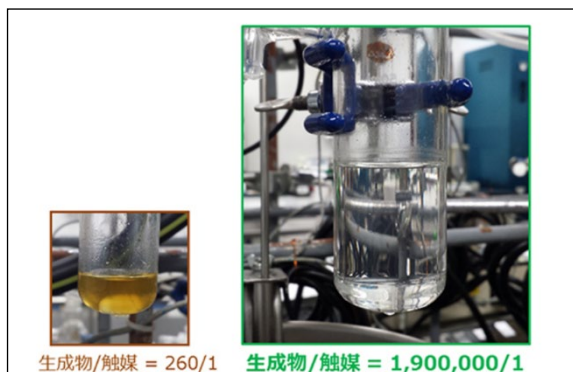
世界の平均気温は上昇を続けています。主要原因は文明社会からのCO<sub>2</sub>排出であり、莫大な量のCO<sub>2</sub>排出削減が必要です。本講義では、こういった環境問題の解決へ向けた触媒研究について解説します。「触媒」は、化学反応を制御するキーマテリアルです。CO<sub>2</sub>から資源となる有機物を合成するCO<sub>2</sub>変換触媒、貴金属を含有する触媒の使用量を大幅に低減させる超高活性触媒、反応液から容易に分離が可能な固定化触媒・析出触媒、再生可能エネルギーの普及に貢献するエネルギー変換触媒など研究室の研究内容を紹介したいと思います。加えて、既に幾度となく人類を救ってきたこれまでの触媒の活躍の数々、例えばアンモニア合成触媒や排ガス浄化触媒等についてもご紹介します。



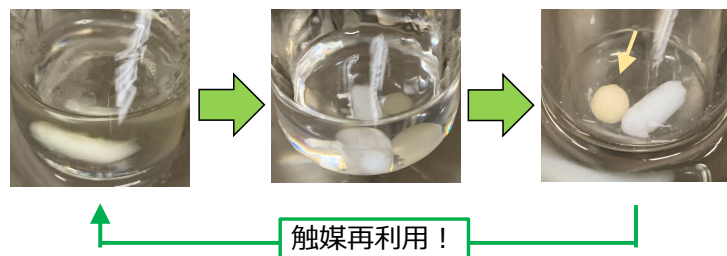
世界平均温度の上昇



触媒によるCO<sub>2</sub>からの有機物合成



超高活性触媒を用いたときの反応液 (右)



反応後に析出する触媒